

◆問い合わせ 町学校教育課総務係  
(☎82-3111内線312)または町生涯学習課(☎82-3111内線621)へ。

# 天空海闊

—空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも—

学校・家庭・地域が力を合わせて育む  
「やまだの子」をめざして!

## 第3回山田町教育フォーラム

【場所：町中央公民館大ホール】

### 《第1部：教育シンポジウム》

▷日時 来年1月8日(金)  
午後1時～4時

#### ■基調発表

- ▶「山田北地区実践協議会の実践」(北っ子の会代表小野浩樹氏)
- ▶「山田の子どもの学びの現状」(町教育委員会加藤貴之氏)



#### ■パネルディスカッション

「山田で育む 山田の子の『やまだの学び』について」(安倍貴史氏、富山憲司氏、高橋淳子氏、金野裕見氏、三浦信之氏)



### 《第2部：教育講演会》

#### 【山田町人づくり町づくり講演会】

▷日時 来年2月28日(日)  
午後2時～3時半

- ▷内容 演題「『脳を知り 脳を育み 脳を鍛える』～スマホやゲームなどの生活習慣が脳発達に与える影響について～」(東北大学加齢医学研究所長川島隆太氏)



## 山中生が赤い羽根運動 社会福祉協議会に善意届く

山田中学校(佐々木秀毅校長、生徒316人)では、赤い羽根共同募金運動で集めた5万5341円を山田町社会福祉協議会(箱石紅子会長)へ贈呈しました。この募金は、同校生徒会が中心となり、10月17日に3年生17人が町内の各所で募金の呼びかけを行ったものです。贈呈式は、19日に同校で行われ、生徒を代表し生徒会副会長

の佐々木歩成君(3年)と執行部の小林鈴菜さん(3年)が出席。小林さんから「みんなで声をかけて集めました。お役にしてください」と、社会福祉協議会の高橋富士雄事務局長へ集めた募金の手渡されました。これに対し、高橋事務局長から「大切に使用させていただきます」と、お礼の言葉が述べられました。今回の募金は、岩手共同募金

会を通じて社会福祉協議会の安心して暮らせる町づくり事業などに役立てられます。



左から高橋富士雄事務局長、小林鈴菜さん、佐々木歩成君

## 鯨峰爽やかに

目下、コロナ禍で人と直接会うことが少なくなってきた。先日はウェブ会議というものを経験しました。お互いが遠くにいてもパソコンを通じて会議ができるというのは科学の進歩を感じさせられます▼ある時、初めて訪問した方と玄関先で1時間も話し込んだことがありました。その方は竹を割ったような性格でしたので、思わず意気投合したのでしょいか、このようなことは初めてでした。最近SNSやメールなどでトラブルになっているのが、意図していない意味に捉えられて問題になるケースです。同じ言葉でも言い方を変えるだけでまったく違う受け取られ方をすることもあります。文字だけでは伝わらないことも伝えられる「人と会うこと」の素晴らしさを実感した次第です▼まだまだ新型コロナウイルスは衰えませんが、治療法が確立し一日も早く自由に人と会えるようになってほしいと思う今日この頃です。

教育長 佐々木茂人